

第17回文化セミナー アートの可能性



毛利悠子《モレモレ：ヴァリエーションズ1》2017
（「毛利悠子 グレイ スカイズ」 藤沢市アートスペース）

日付 **2018年8月25日(土)**
時間 **14:00 ~ 16:00**
会場 小田原市民会館展示室（2階）
料金 入場無料
定員 30名程度（申込先着順・当日空きがあれば参加可）
申込 電話、メールにて（7月10日より申込受付開始）
（件名に「文化セミナー申込」、本文に氏名、住所、
電話番号、メールアドレスをご記入ください。）
申込先 小田原市文化政策課 ☎ 0465-33-1706
cultural-create@city.odawara.kanagawa.jp

美術館ではないアートスペースの可能性とは…。

新しい市民ホールに整備される予定のアートギャラリー。市民の活動発表の場として利用されるだけでなく、小田原のアートシーンを生み出す拠点として、どのような可能性が秘められているのだろうか…。現代アートを中心に企画展を開催している藤沢市立のギャラリースペース「藤沢市アートスペース」の取り組みを学んで、新しいギャラリーの可能性について考えてみよう！



こばやし えみこ
講師 **小林 絵美子**（藤沢市アートスペース 学芸員）

2010年より藤沢市民ギャラリーに勤務、年に一度開催する企画展「藤沢市30日美術館」を担当。藤沢市アートスペース開設に伴い、立ち上げに携わる。2015年より現職。藤沢市ゆかりのアーティストの展覧会やワークショップ等を企画。



なかの ひとし
講師 **中野 仁詞**（藤沢市アートスペース 運営協議会委員）

公益財団法人神奈川芸術文化財団学芸員。神奈川県民ホールギャラリーや神奈川芸術劇場にて数々の現代美術展を企画。第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展（2015年）日本館キュレーター、ヨコハマトリエンナーレ2017キュレーター。芸術資源マネジメント研究所研究員。東海大学/女子美術大学非常勤講師。慶應義塾大学大学院美学美術史学専攻前期博士課程修了。

藤沢市アートスペース／愛称 FAS(エファース)  <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunka/FAS>

辻堂駅北口、湘南C-Xにある「ココテラス湘南」の6階を利用して、平成27年10月にオープンした藤沢市の美術振興施設。若手アーティスト等の支援や様々なジャンルの企画展、ワークショップ、講座などを開催し、アートの新たな可能性と地域とのつながりを広め活動しています。